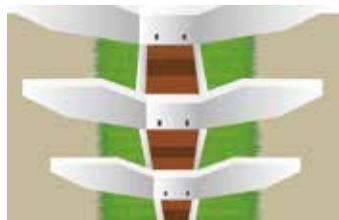


市民生活を守る 砂防ダム 整備事業 を紹介



土木建築委員会県内所管事務調査より

私は昨年度に引き続き今年度も土木建築委員会に所属しています。5・6月には県内所管事務調査として県内を回りました。

6月3日(月)は別府土木事務所管内を訪ね、別府土木事務所の主要施策（重点事業）の一つである境川大規模特定砂防事業を現地調査しました。

境川では、2016年の熊本地震で発生した山腹崩壊により、溪流内に多量の土砂が堆積し、大雨による下流域への土砂流出が懸念されていました。県では災害関連緊急砂防事業を実施し、2018年に4号堰堤（砂防ダム）、2021年に5号堰堤が完成しました。

しかしながら、境川流域全体を考慮すると、地震で崩壊した山腹は荒廃が進行していることから、災害防止対策を図る目的として流域全体の砂防施設の配置計画を再検討し、引き続き6号堰堤の整備を進めています。いずれの堰堤も流木の流れをくい止め水だけ流れるスリットダムとなっています。



場所は、陸上自衛隊別府駐屯地の南側の道路を奥に入ったところで、境川の上流になります。私は2020年度に土木建築委員会に所属していた際、5号堰堤の建設現場を視察しましたが、今回は4号堰堤と5号堰堤の中間点に作られている6号堰堤の建設現場を視察しました。

溪流の奥深いところでこのような施設ができていることを御存知ない方も多いことだと思います。県では、砂防ダムなど普段は見えない場所での施設整備にも取り組み市民の生活を守っていることを知っていただければと思い報告しています。



4号堰堤



5号堰堤

原田たかし活動報告



境川 大規模特定砂防事業



4号堰堤・5号堰堤の写真と地図は大分県別府土木事務所提供

ちょっと不思議なこと
「えっ! 境川の上流は
水が流れていません...」



市街地では水が流れている境川ですが、この砂防ダムができる上流では普段はほとんど水が流れていな

いことを御存知でしょうか？

では、市街地で見る境川の水はどこから流れ込んでいるのでしょうか？境川にはいくつかの支流からの流入とともに、傾斜が急な扇状地であることから伏流水が流れ込んでおり、市街地で私たちが見ている境川の流れとなっているそうです。

しかしながら、ひとたび大雨になると山腹から大量の水が本流に流れ込み怒濤のごとく濁流となります。ですから、普段はほとんど水が流れていない上流のところにも砂防ダムが必要となります。

このような川の流れがあることにあらためて驚きました。



市街地での境川の流れ